

④ Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 01 F 11/00

識別記号

庁内整理番号  
6953-4G

⑬ 公開 昭和55年(1980)12月9日

審査請求 未請求

(全 3 頁)

## ⑭ 材料の振動混合装置

⑯ 実 願 昭54-70988  
⑰ 出 願 昭54(1979)5月25日  
⑱ 考 案 者 時子山勝己堺市日置荘西町889の23番地  
⑲ 出 願 人 株式会社川田製作所  
大阪市西区阿波座1丁目15番15号  
⑳ 代 理 人 弁理士 津田直久

## ㉑ 実用新案登録請求の範囲

(1) 上下方向に延びる上部駆動軸と下部駆動軸とをもつたモータを支持枠に支持して、該支持枠における前記モータの上方位置に碗形の混合タンクを支持すると共に、前記支持枠を、機台の上部で、かつ前記モータの駆動軸に対し離れた位置に配設する複数の弾性体を介して振動可能に支持し、前記モータの上部駆動軸と下部駆動軸とにそれぞれ前記駆動軸の半径方向一方向に延びる重錘を取付け、かつこれら重錘を、前記駆動軸の回転方向に所定角度変位させて、その位相をずらせ、前記駆動軸の駆動により前記タンクを、三次元方向に振動させるとく成す一方、前記混合タンクに、材料供給口と排出口とを設けて、前記タンク内に前記供給口から排出口に至る材料の移送室を形成し、前記タンクの三次元運動により、前記供給口から供給された材料を三次元振動させながら前記排出口に移送させるとく成したことを特徴とする材料の振動混合装置。

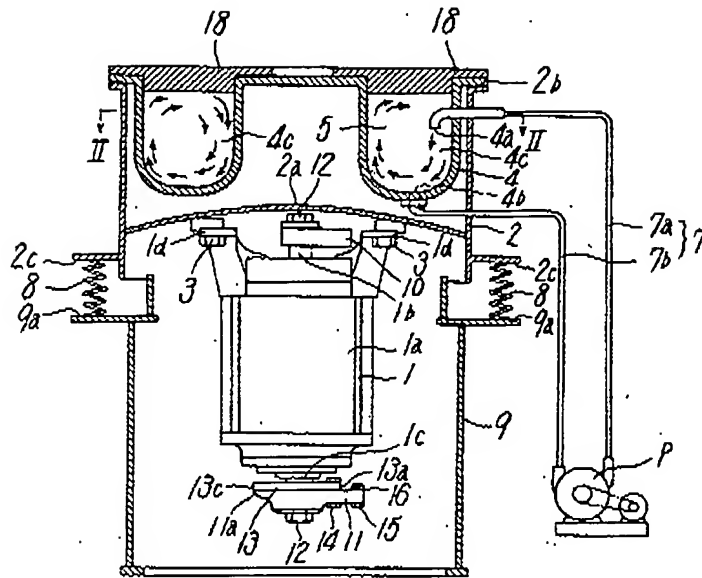
(2) 混合タンクに設ける前記供給口と排出口との間に、前記排出口近くの材料を吸引して前記供給口に戻す材料循環路を形成し、この循環路にポンプを介装したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の材料の振動混合装置。

## 図面の簡単な説明

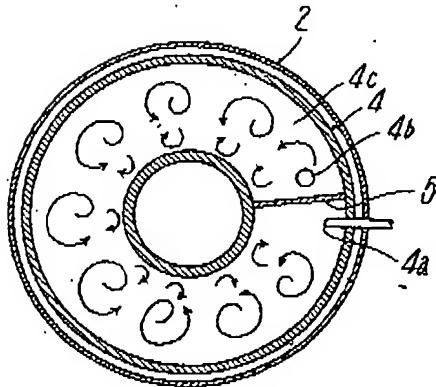
図面は本考案の実施例を示すもので、第1図は縦断面図、第2図は第1図II-II線断面図、第3図はモータ下部の断面図、第4図はモータ下部の底面図、第5図乃至第8図は別の実施例を示すもので、第5図及び第7図は縦断面図、第6図は第5図VI-VI線断面図、第8図は第7図VII-VII線断面図である。

1……モータ、1a……上部駆動軸、1b……下部駆動軸、2……支持枠、4……混合タンク、4a……供給口、4b……排出口、4c……移送室、7……材料循環路、9……機台、10, 11……重錘。

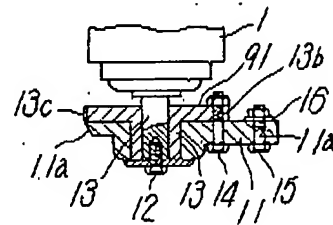
第1図



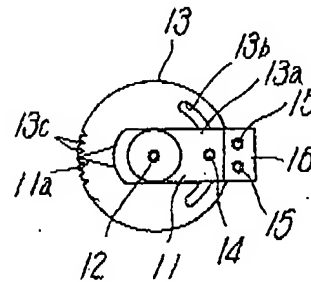
第2図



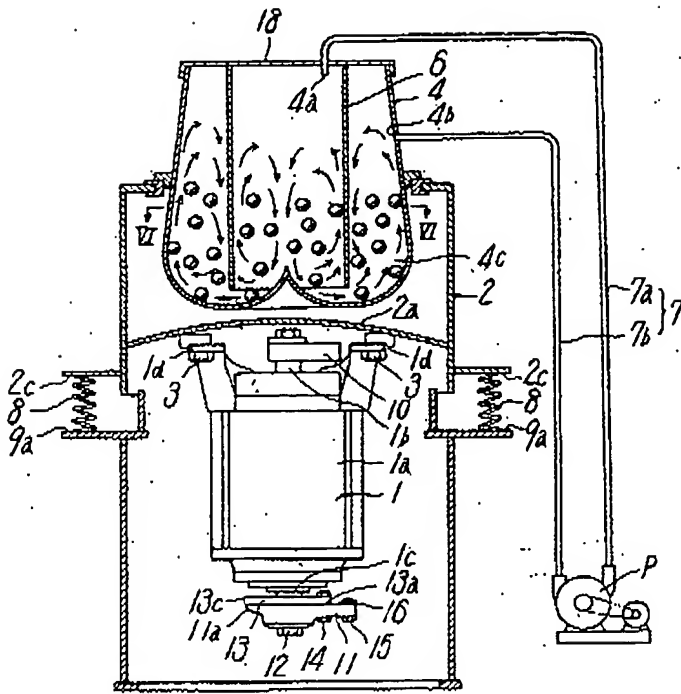
第3図



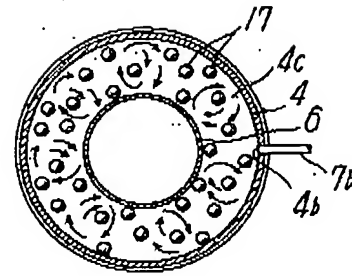
第4図



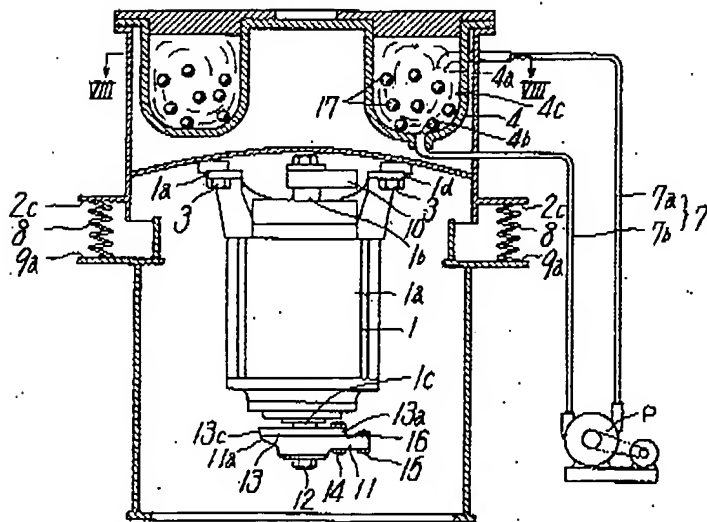
第5図



第6図



第7図



第8図

